

科目名	教育の社会制度論		担当教員	篠原 清昭	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2EFE103
期待される学修成果	基礎教養 学校と社会				
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	(空白)				
実務経験を生かした授業内容	(空白)				
到達目標及びテーマ	教育の社会的、制度的な事項と学校経営的な事項について講義する。詳細には近年の社会変化の中で教育政策の動向(1-1)を講義し、公教育制度の意義や原理(1-2)を考える。さらに、学校の組織と経営(1-3)について講義する。併せて、学校と地域との連携(2)や学校安全(3)について講義する。				
授業の概要	総論として、①現代の教育社会の変化を踏まえた上で、教育制度や学校の改革の動向を説明し、②国や地方の教育政策や学校経営の実態を理解させる。各論として、③教育政策の民主化や市場化の問題を例示するとともに、④いくつかの教育政策及び現象の問題課題を事例的に示し、その問題認識、問題解決を協議の上検討させる。				

授業計画	
第1回	現代の教育社会の変化
第2回	現代の教育制度改革
第3回	現代の学校改革
第4回	国及び地方の教育ガバナンス
第5回	学校における経営マネジメント
第6回	現代の教育政策は民主的か
第7回	教育の市場化は抑制できるか
第8回	「チーム学校」は実現できるか
第9回	日本の学力は向上できるか
第10回	体罰はなくせるか
第11回	いじめはなくせるか
第12回	不登校はなくせるか
第13回	学校災害にどのように対応するか
第14回	学校は地域と連携できるか
第15回	市民の生涯学習は保障できるか

事前学修	2時間	事前に配布した資料を通読し、課題意識を持って授業に臨む。又は授業で指示した例題があるときは、取り組んで授業に出席する。
事後学修	2時間	理解した内容について、ノートにまとめ、疑問点があれば次回までに明らかにしておくこと。
フィードバックの方法	いくつかの回で小レポートを課し、次の授業内にコメントを付し返却し、学習の発展に供する。	

成績評価方法	割合(%)	評価基準等
レポート	20%	課題に応じた集約力と分析力を評価
定期試験	80%	課題に対する解釈力と展開力を評価
補足事項		

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし	なし	なし	なし	なし
参考資料	篠原清昭編著『教育の社会・制度と経営』ジダイ社 2018年			